

我が九条

京都市立九条中学校

発行日：令和2年6月2日

発行者：校長 三科 俊一

学校だより 6月号

6月1日(月) 学校再開の学年集会にて(校長挨拶)

皆さん、おはようございます。皆さんの元気な顔が見られて、とてもうれしく思います。

新型コロナウイルス感染症の対応のため、3カ月に及ぶ臨時休業がようやく終了し、本日より学校を再開することができました。この間、生徒の皆さんは口には出せない悩みや不安、ストレスや不調もあったのではないのでしょうか。自分をコントロールし、頑張ってきたことと思います。皆さんは、「自分はどう行動すべきなのか」と、自分に問いかけたり、いろんな方への目配りや気配りをしてきたのではないのでしょうか。そんな経験は皆さんを成長させてくれると思っています。

また、保護者の方が、皆さんの生活や健康、学習にと、大変気を配っていただいていることを感じたのではないのでしょうか。皆さん、機会を設けてぜひ感謝の言葉を伝えてください。

さて、学校再開にあたって、これからの学校生活において大切にしてほしいこと、知っておいてほしいことを、いくつか伝えます。

一つ目は、夢や目標に向けて、粘り強く取り組むことや困難と思えることにも挑んでいくことを期待しています。

二点目は、本日から12日までは「ウォーミングアップ期間」と位置付けて徐々に通常の学校教育活動に近づけていきます。また、15日からは通常の6限授業になります。この週に教育相談の機会を設けています。休業期間中の思いや相談事について担任の先生と話しをしてください。

三点目は、教育相談の前でも、悩みや不安・不調などがあれば、いつでも相談をしてください。話をして楽になることはたくさんあります。気軽に先生に相談をかけてみてください。

四点目は、4月・5月に予定された授業日数をできるだけ確保し、本年度中に必要な履修内容を修了できるように、教育課程等を見直しを行います。

最後の五点目です。新しい生活スタイルの定着も含めた感染防止のための対応を実施していきます。今までと同じようにとはいかないことも多く、最初は戸惑うこともあるかもしれませんが、しっかりと意識して慣れていきましょう。学校は皆さんにとって健やかな学びと潤いの場もあります。共に頑張っていきましょう。

ただ、今は人との距離は取らなくてはいけませんが、心の距離を遠ざけないようにはしてほしいです。相手のようすをしっかりと見取って、「あの人は何をしてほしいと思っているのかな？ あの人はこうかな？ ああかな？」と思いを馳せ(思考を巡らせ)行動することができる人であってほしいと願っています。



「新しい生活スタイル」を実践しましょう

○感染防止の3つの基本…・身体的距離の確保 ・マスクの着用 ・手洗い

本当の優しさとは

本当の優しさとはなんでしょう。皆さんはどう思いますか？ 小説家で天台宗の尼僧の瀬戸内寂聴（せとうち じゃくちょう）さんは、「本当の優しさとは、相手を理解し、相手の心情を思いやる想像力を持つこと」とおっしゃっています。皆さん、いかがですか。

私は、瀬戸内さんがおっしゃっている「相手を理解し、相手の心情を思いやる想像力をもつこと」を、「目配り、気配り、心配り」をすることだと表現しています。目配りとは、細かい点まで注意を向けて、様子を確認することです。そうすることで、相手の心や体の状態を推し量れるようになると思います。気配りとは、自分の立場から見て、相手が求めていることを想像して、行動を先回りすることをいいます。



目配りによって読み取れたことがあれば、気配りとして、相手を思いやって気をつけることを考えてみてください。そして、心配りとは、相手のためになるような行動を言います。そんな、相手へのさまざまな心配りは、きっと「めぐりめぐってわが身にかえる」ことでしょう。

学校再開日（本日、6月1日）以降の教育活動の概略について

●6月2日（火）～5日（金）

この4日間は、クラスごとに「1日置き（隔日）」で、午前中授業を行います。1クラスを2分割し、2教室を使って各学年とも学習活動を行います。

●6月8日（月）～11日（木）

この4日間は、クラスごとに「午前と午後に分かれて、毎日登校」します。午前登校・午後登校を間違えないようにしてください。

●6月12日（金）

この日は、全校生徒が登校し、終日授業を実施します。

●6月15日（月）～ 通常の学校教育活動を再開します。部活動についても、一定の条件下で再開する予定です。

